



YMI WORLD

「強い義務感をとう 義務はすべての権利に伴う」

ワイズメンズクラブ国際協会

2025年8月号



戦略2032に焦点を当てる
韓国の平和ブランディングプロジェクトを特集

戦略2032の10年計画の目標は、主に私たちのアイデンティティを強化し、より革新的で包摂的な組織となることで、連帯と地域社会への影響力において卓越した国際的組織となることです。



アイデンティティ

YMIを独自で強力なブランドとして確立する。



革新

より現代的な実践方法を採用する

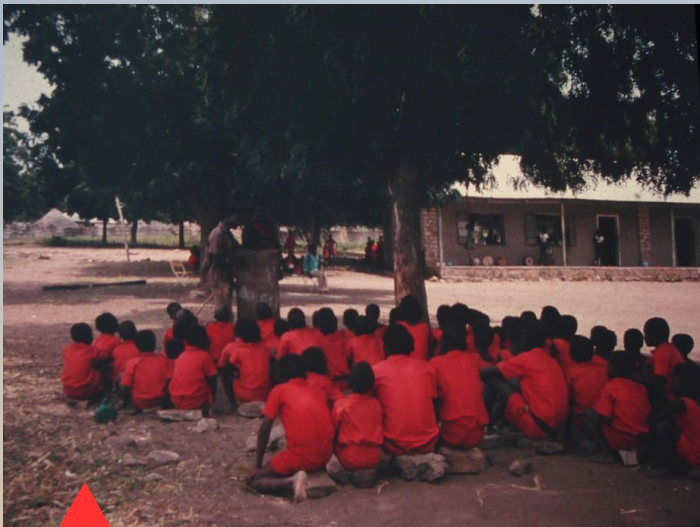


包摂性

あらゆるレベルで文化的、宗教的、および性別的多様性を促進する。

貧しい少年が強調したこと！

キリスト教強調国際事業主任: ビリー・モルゴー



この写真は、1975年頃、木陰で屋外授業を受ける小学校のクラスです。子どもたちの多くは、衣服や靴を買う余裕のない家庭の出身でした。最貧困層の生徒たちの尊厳を守るため、制服は導入されましたが、靴は履いていませんでした。そのため、写真の子どもたちは、砂が非常に熱くなるにもかかわらず、裸足です。

約50年前のアフリカで、ある少年がキリスト教徒のほとんどいない地域に住んでいました。彼と彼の家族は、最近改宗したばかりで、クラスメイトの何人かは彼の新しい信仰をからかうようになりました。彼が住んでいた地域では、砂が非常に熱くなり、靴を履いていないと足が火傷するほどでした。少年の家族は、貧しく、彼に靴を買う余裕は、ありませんでした。他の子供たちも彼の貧しさを嘲笑しました。少年の一人が彼をからかって言いました。「君は、神は愛だと言うが、それは真実ではない。もし神が愛であるなら、君が足を火傷しないように誰かに靴をくれと命じるはずだ。」かわいそうな少年は、しばらく黙ってからこう答えました。「神は、誰かにそう言うと思う。でも、その人は耳を傾けないんだ！」私は、この答えを決して忘れません。ワイズメンズクラブ国際協会の私たちも、神が語りかけられるときに耳を傾ける者であることを願い、祈っています。

キリスト教強調：貧しい少年が強調したこと！	2
ビリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任	
国際会長メッセージ	4
エドワード・オング 国際会長	
国際会長 フォーカス2.4	6
エドワード・オング 国際会長	
国際本部ニュース	8
ジョース・ヴァルギース 国際書記長	
インパクトのためのコミュニケーション	10
コシー・マシュー 前YMIワールド編集長	
戦略2032：韓国地域の平和ブランディングプロジェクト	11
チュン・キョンジュ 韓国地域ニュース編集者	
アフリカ地域ニュース	13
ジョウン・マティ アフリカ地域ニュース編集者	
アジア太平洋地域ニュース	14
利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者	
インド地域ニュース	15
ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者	
韓国地域ニュース	16
チュン・キョンジュ 韓国地域ニュース編集者	
ヨーロッパ地域ニュース	17
ビルジット・ジェイコブセン ヨーロッパ地域ニュース編集者	
今月の料理(デンマークから)	18
ビルジット・ジェイコブセン ヨーロッパ地域ニュース編集者	
米国地域ニュース	19
ジョセフ・カンジャマラ 米国地域会長	
8月の主要な国連記念日	20
ロイス・マラセリー 国連プロジェクト委員会委員	



ワイズのフェローシップ： 共に、より強く

エドワード・K・オング
国際会長(2025/26)
ワイズメンズクラブ国際協会

それは、単純な「なるほど」という瞬間から始まりました。

私は、あるワイズメンの会議に参加しました—馴染みのある顔ぶれ、温かい笑顔、そして静かな会話のささやき。最初は、特に目立つものは何もありませんでした。しかし、何かが動き始めました—幸福感、目的意識、単なる存在を超えた深いつながり。それが、真のワイズのフェローシップだと感じました。

それは、簡単に定義できるものではありません。地位や集まりの規模ではない、時間と距離を超えて私たちを結ぶ見えない絆—あなたが属しているという静かな確信。どこかで誰かが、使命、祈り、そして精神においてあなたと共に立っているという安心感。それが、私たちのワイズ運動におけるフェローシップの本質です。

経験を積むにつれ、その真の性質を理解するようになりました。ワイズのフェローシップは、単なる交友関係ではありません—それは深い絆です。それは、スポットライトを求めない奉仕です。言葉を超えて行動に移る信仰です。国境や世代を超えて広がる愛です。深い慈しみの井戸から湧き上がる行動です。

私たちのFOCUS 2.4は、3つの柱に支えられています：信念、愛、行動。これらは、抽象的な理想ではありません—私たちの奉仕のまさに鼓動そのものです。信念が私たちを根付かせます。愛が私たちを結びつけます。行動が私たちを定義します。これら3つが、平凡な任務を非凡な使命に変えます。災害支援、地域プログラム、静かな支援の瞬間において現れます。自己利益や個人的な栄光を追求するのではなく、自己犠牲と寛大さを選択し、喜びと挑戦の両方で団結する時、それらは、いきいきと輝きます。

YMIが真に特別なのは、その構造や歴史だけではありません—それは、人々を結びつける魂です。誰かがワイズマンやワイズウーマンに出会った時、形式ではなく誠実さを感じ、距離ではなく温かさを感じ、誇りではなく目的を感じてほしいのです。私たちは、愛に根ざした真摯な何かの一部であると感じてほしいのです。

今日、これまで以上に、私たちはより深く掘り下げ、より強くなるよう呼びかけられています。会員数が減少したり、関与が薄れたりしている地域では、弱さではなく機会を見なければなりません。再建し、招き入れ、歓迎し、励まし、奉仕する機会です。ワイズのフェローシップを新鮮で大胆な方法で再燃させる機会です。

数だけではなく、意味に再コミットしましょう。私たちはいつそう、私たちを定義する絆を強化し、この奉仕の聖なる輪に他者を招き入れましょう。なぜなら、このフェローシップ—この存在の仕方—こそが、世界が切実に必要としているものだからです。YMIの存在が目的と団結を放つコミュニティーを想像してください。人々が「彼らは、ワイズメンズクラブ国際協会から来た—そして平和、優しさ、希望をもたらした」と語るような場所です。

そのビジョンは、実現可能です。ワイズのフェローシップは、感傷的なものではありません—それは、神聖なつながりです。集いを目的へと変え、奉仕を意義へと変え、見知らぬ人を家族へと変えるものです。それは、私たちが残す遺産—銘板ではなく、変えられた心と高められた人生です。

このことを念頭に、長年クラブの忠実な会員であり、運動とのつながりを保ちたいと願うシニア会員たちに手を差し伸べましょう。彼らは、私たちの友情に値する人々です。今年、私たちは、彼らに心からの感謝と、地域レベルで彼らのニーズに合わせた意味のあるプログラムで敬意を表すことを誓います。

信念をもって歩みましょう。愛をもって導きましょう。行動を通じて奉仕しましょう。そして、私たちは、常に「共に、強くなる」ことを忘れないでください。それが、親愛なる友人の皆さん、YMIの進むべき道です。



エドワード・オング国際会長の所属クラブ、シンガポール・アルファ・チャプターは、2025年7月4日にブリティッシュ・ハイナン・レストランで年次就任式と夕食会を開催しました。

IP FOCUS 2.4

志し、刺激し、変革する運動

エドワード・オング国際会長

2025/26年度、YMIの第2世紀における4年目となるこの年、私たちは「信念、愛、行動」をテーマに、戦略2032の推進に向けた新たな機会を捉えていきます。FOCUS 2.4という名称は、ワイズメンズクラブ国際協会の第2世紀における4年目という節目を反映しています。

FOCUS 2.4のビジョンは、私たちの集団的な可能性を解き放ち、運動を強化し、メンバーを「共に、より強く」という鼓舞するスローガンのもとで結集させるための、より広範な展望を提供します。

野心的な目標

このロードマップは、来年度に向けた明確で野心的な目標を定めています：

1. 世界中で100の新しいクラブを設立し、YMIを新たな国へ拡大する。
2. グローバルな会員数を10%増加させる。
3. 1,000のグッドスタンディングクラブを維持する。
4. 国際プロジェクトへの献金を20%増加させる。
5. 高齢者のメンタルウェルビーイングをYMIの主要プログラムとして位置付ける。
6. 健康、教育、環境の分野で、深みと可視性のある影響力のあるコミュニティプロジェクトを開発する。
7. 組織の核心的な価値観とキャラクターに基づいた結束を強化する。
8. すべてのレベルでYMCAとの積極的なミッションパートナーシップを育成する。
9. リーダーシップ開発を優先し、メンタリングプログラムを通じて若者と女性のエンパワーメントに焦点を当てる。
10. ドバイでの国際大会26を真の「夢の祭典」として促進し、会員とその家族の参加を促進する。

戦略的な取り組みとトレーニング

これらの目標を実現するため、私たちは、以下を含む、刺激的で実践的な戦略を実施します：

- 各区は、年間を通じて少なくとも2つの新しいクラブの設立を目指す。
- 各クラブは、最低3人の新規会員を獲得する。
- CPE研究所のトレーナー養成研修を地域レベルで実施し、バリでリーダーズ・コンクラーベを開催する。
- バリで国際次期理事サミットを開催し、次期理事を動機付け、刺激する。国際プログラムを支援し、世代間参画を促進するため、スポーツ活動やコンサートを含む資金調達イベントを促進する。
- 世界YMCA同盟チェンジエージェント・コホート6とYMCA NGSTレーニングプログラムへの支援を強化する。
- YMIとYMCAのプロジェクトをすべてのレベルで影響力のあるパートナーシップとして構築する。
- ケニア、ザンビア、ボツワナ、カメルーン、インドでRBMプロジェクトを展開する。

変革的な成果

新たな信念を胸に、愛に導かれ、革新的な行動を通じて、YMI FOCUS 2.4は、私たちの遺産を強化し、コミュニティを力づけ、より良い未来を築くための変革の道を切り拓きます。



国際本部ニュース

国際書記長 ジョース・ヴァルギース

先月、新たなYMI年度が開始されたことを受け、国際本部は、特に活発な活動を展開してきました。主要な焦点の一つは**2024/25年度**の決算の最終化であり、YMIが再び年次監査を問題なく通過したことは、財務の健全性と安定性が継続していることを示す励みとなる結果です。年次報告書と監査報告書は、日本で開催される代表者立法協議会(国際議会)後に**2025年8月**に公表される予定です。

6月28日と29日、私は、シャ名ヴァスカーン国際会長とエドワード・オング次期国際会長と共に、コーチンで開催されたインド地域大会に参加する荣誉に預かりました。このイベントには約**700名**の参加者が集まり、活発な交流、詳細な報告、貢献の表彰、そしてバブ・ジョージ地域会長をリーダーとする新地域チームの就任式が行われました。その後、7月4日と5日に、エドワード・オングと私、はラテンアメリカ地域大会にオンラインで参加しました。また、ケニア部の部大会にもライブストリームで参加しました。**300人**を超えるメンバーが参加していましたが、これは、アフリカ東南区における区の関与と発展の拡大を示す強い兆候です。さらに、7月20日に中央インド区の区大会が開催され、区全体から多くの会員が参加しました。特に注目すべきは、**21件**の新規クラブチャーターの提案で、今年度中に複数の部で成長が加速する可能性を示しています。

一方、アジア太平洋地域大会の準備は本格化しており、**2025年8月1日から3日**まで熊本で**545名**の代表者が参加する予定です。このイベントでは、国際会長エドワード・オングと国際執行役員が正式に就任し、その後、田上正アジア太平洋地域会長とそのチームが就任します。これと並行して、熊本での国際議会は、ロジスティックの最終調整が完了し、重要な背景説明の文書が既に配布されています。この会議での重要な決定と結果、特に新しい**TOF**プロジェクトについて、次号の**YMI World**で共有するのを楽しみにしています。

並行して、国際本部は、エドワード国際会長が年間戦略計画「**FOCUS 2.4**」を策定するのを支援し続けています。この取り組みは、戦略**2032**と一致し、YMIのすべてのレベルにおけるロードマップを提供します。その導入時期は、将来の計画に焦点を当てた強調月間と一致しており、理想的です。すべてのクラブメンバーは、[戦略2032](#)のビジョンを再確認し、クラブ内で協働して**2025/26年度**の具体的なインパクト計画を策定するよう奨励されています。各クラブは、地域的な文脈とニーズに最も関連する戦略的目標を特定し、行動に移すよう促されています。

先月、アレキサンダー奨学基金 (ASF) から 10,000 ドルが、YMCA の旗艦的なグローバルリーダーシップの取り組みであるチェンジエージェントプログラムの第 6 期生を支援するために割り当てられました。今年のプログラムには、46 カ国から 86 人が参加しており、その 40% は YMCA のスタッフです。集中的なカリキュラム、実践的なリーダーシップ体験、若者主導のプロジェクト、国境を越えた協力などを通じて、このプログラムは、新興のリーダーたちに、それぞれのコミュニティやグローバルな YMCA ネットワークにおいて、革新と変革を推進するためのツールを提供しています。

さらに先を見据え、組織レビュー (ミッションと構造) タスクフォースが重要な作業を開始しました。ヨハン・ヨハン・エルトヴィック次期国際会長は、YMI の遺産を尊重しつつ、理想と熱意に根ざしたダイナミックで未来志向の運動の基盤を築く取り組みをリードしています。エリアと区レベルでの関与は、このプロセスの成功に不可欠であり、すべてのリーダーは、意見やフィードバックの要請に、配慮と慎重さを持って対応するよう奨励されています。

既存の境界を越えて成長を続ける中、私たちは強い持続可能なクラブを基盤に、新たな国への拡大を期待しています。共に、100 カ国到達とミッション 100 目標の実現を現実のものにしましょう。2024/25 年度は大きな勢いで終了しました。この勢いを維持し、目的を持って前進しましょう。

編集長から

YMI ワールドへの意見、アイデアを編集長にお寄せください

9 月は、EMC と 100 日間会員増強キャンペーンの強調月間です。

以下をクリックして、8 月 15 日までに記事を投稿してください。

Contact Editor

編集長へ

インパクトのある コミュニケーション



元YMIワールド編集長(2015-24)コシー・マシュー

コミュニケーションは、通常、少なくとも2つの当事者(送信者と受信者)が関与する情報の伝達と理解されています。これは、アイデア、思考、意見、知識、データを交換するプロセスであり、メッセージが明確かつ目的を持って受け取られ、理解されることを目的としています。効果的にコミュニケーションを取ると、送信者と受信者の両方が満足感を得ます。

「インパクトのあるコミュニケーション」は、それ以上のものです。これは、単に情報を伝えるのではなく、聴衆に響き、行動を促すメッセージを伝えることです。誤解を避け、理解を確実にするための、明確で簡潔かつ的を射たコミュニケーションが求められます。本質的に、それは違いを生むようなコミュニケーションの方法です。

明瞭さと精度

メッセージは、分かりやすく、曖昧さを避ける必要があります。

ターゲット メッセージング

メッセージは、対象者に特化したものでなければならず、対象者のニーズに応えるものでなければなりません。

メッセージの受け手 を理解する

メッセージを作成するときは、相手の知識、興味、動機を考慮する必要があります。

行動を鼓舞する

メッセージは、単に情報を伝え、行動を呼びかけるだけにとどまらないものでなければなりません。

影響力のあるコミュニケーションの例には、例えば、聴衆を感動させる説得力のあるプレゼンテーションを行う講演者、選挙キャンペーン中に有権者を鼓舞する演説を行う政治家、または、潜在的な顧客に製品の価値を効果的に伝えるマーケティングキャンペーンなどが挙げられます。多くの非営利団体は、価値ある事業への支援を呼びかけるパンフレットやアピール文書を発行しています。おそらくあなたも目にしたことがあるでしょう—高齢者、危機に直面する子どもたち、住居や基本的な生活必需品に欠ける貧困層を支援する呼びかけ。このようなメッセージやコミュニケーションは、要請を行う団体について読者に伝えるだけでなく、状況の緩和に向けた取り組みを教育し、支援を訴える役割も果たします。ワイズメンズクラブ国際協会の場合、行動喚起の呼びかけは、会員と非会員の両方を対象にしなければなりません。これは、RBM(マラリア撲滅)やTOF(断食のとき)などのプロジェクトへの寄付を要請する形をとることもあれば、友人や親戚をコミュニティーサービスや運動の他の活動に参加するよう招待する形をとることもあります。本質的に、効果的なコミュニケーションは、単に話すことや、ニュースレターや雑誌を発行するだけではありません。それは、聴衆とつながり、彼らのニーズを理解し、意味のある行動を起こすように影響を与えることなのです。

韓国地域の 平和ブランディングプロジェクト

1歩、1曲、ひとつの世界

YMIは、国際社会における平和構築者としての役割を強化し、その遺産を次の100年にも継承していくことを目標とすべきです。YMIの設立ビジョンは、第一次世界大戦後のより良い世界建設への願いから生まれ、連帯の精神、社会参画、相互支援の共通の願いに根ざしたものです。人類の紛争の歴史から学ぶ強力な国際平和運動の必要性は、現在も継続しています。この必要性は、南北の対立が継続し、北朝鮮の核武装により、さらに激化している朝鮮半島において、特に緊急性を帯びています。

韓国地域が「平和ブランディング」をこの戦略2023プロジェクトの主要施策として選択した理由は以下のとおりです。

- 南北朝鮮間の持続的な社会的な緊張は、朝鮮半島の複雑な現代史に深く根ざしています。これにより、疎外感の強い意識が生まれ、南北朝鮮人(南の脱北者を含む)との分断を埋めること、共存、平等、調和を促進する願望がますます高まっています。分断を直接体験した韓国地域のYMIクラブは、自然とこの平和と包摂の願望を、すべての排除されたグループに広げています。その歴史的、文化的、地理的背景から、平和の追求は、緊急かつ深く感じられるものとなっています。
- 2022年のYMI創立100周年を記念し、韓国地域のソウル区は、フラッグシップイベントとして「ピース・ウォークソン」を開催しました。そのビジョンは、韓国半島だけでなく世界中で平和と連帯を追求するため、韓国と北朝鮮の両方から、そしてすべてのコミュニティの人々がハン川とアムノク川を渡って一緒に歩き、走ることで、人々を結びつけることでした。このイベントは、南で高等教育を追求する北朝鮮の脱北者を支援するための意識向上と資金調達を目的とし、最終的に17人の大学生に奨学金を提供しました。これは、より広範な夢の最初の種であり、最初の果実でした。この影響を受けて、韓国地域は、戦略2032の下でより持続可能な平和事業の開発に着手しました。

2022年から2025年7月まで、3回のピース・ウォークソンと3回のピース・コンサートを開催しました。



ピース・ウォークソン・プロジェクト

ピース・ウォークソン・プロジェクトは、戦略2032の健康と環境の柱と一致しています。このプロジェクトは、個人のウェルビーイングを促進し、コミュニティの参加を促進し、地元のYMCAとのミッションパートナーシップを強化しています。また、小規模な寄付活動を拡大するにも貢献しています。韓国では、ピース・ウォークソンは、希望と団結のメッセージを伝えることでピース・ブランディングに貢献しています。これは、ハン川とアムノク川で象徴される南北朝鮮の未来の世代の間、メコン川やヨルダン川のような共有する川を越えて、そしてウクライナ戦争中の支援を含むグローバルな平和努力との連帯を通じて実現されています。



ピース・コンサート・プロジェクト

これまで3回のピース・コンサートが開催されてきました。これらのコンサートでは、「台湾と中国間の海峡を越えた平和」、「朝鮮戦争中の 興南避難」、「デンマークの病院船 コトランディアへの支援」、「日本のワイズメンによる広島平和の歌の演奏を通じた核軍縮の提唱」、および「ロシアとの紛争中のウクライナ YMCA への支援資金調達」など、多様なテーマとトピックが取り上げられてきました。各コンサートは、戦争の現実と音楽を通じた和解の具体的な例を融合させることで、国際社会に平和の強力なメッセージを伝えることを目的としてきました。

YMIの道は、常に平和に根ざしており、過去100年間の私たちの歩みは、そのコミットメントを反映しています。しかし、今日、国際社会は公正な世界を目指すという緊急の課題に直面しています。平和が正義に根ざし、イエス・キリストの教えと一致するときのみ、真の平和と言えるのです。韓国地域の「2032平和ブランディング」の取り組みは、このビジョンへの深いコミットメントと、それを現実にするための継続的な努力を体現しています。

アフリカ地域ニュース

ジョウン・マティ アフリカ地域ニュース編集者



YMIのケニア部は、YMCAに所属する団体として、ボランティア活動と慈善活動を通じて地域開発を支援することを使命としています。ケニア部は、ケニア全土のYMI所属クラブを結びつけ、人道支援、若者の自立支援、教育支援、環境保護など、多様な取り組みを共同で推進しています。

ケニアのCS事業



IYRブライアン・サイモン・ワルチョとケニアのユースリーダーたちは、ケニアのルールにあるヤングライフ・チルドレンズ・ホームで開催されたコミュニティサービスイベントに参加しました。IYRブライアンは、特別ゲストスピーカーとして招待されました。彼のセッション中、彼は若い男の子と女の子を指導し、彼らの夢の実現への希望を燃え上がらせました。

ケニア部の引継式、入会式

「成長と影響力: 新たな地平への舵取り」をテーマに、特別なリーダーシップと開発会議が開催されました。このイベントは、新たなサービス年度の素晴らしいスタートを告げるもので、トレーニングや新入会員の歓迎式典が含まれていました。



アジア太平洋地域ニュース

利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者

香港部 2025合同就任式



2024年7月12日、香港地区合同就任式に約300名の参加者が集まりました。トニー・チャン区理事が部役員の就任式を執り行い、台湾からアンジェラ・ワン理事とレベッカ・ラウ部長がゲストとして出席しました。

フィリピン区総会



フィリピン区は、クラブリーダーたちの意見を聴取するため、総会を成功裡に開催しました。2025年7月5日、新たな区チームが選出されました。マーク・エグーネ・タン理事、ジェイソン・マゴス次期理事、メアリー・ジェーン区書記、アンナ・リー区会計および他の区事業主任の任命を心よりお祝い申し上げます。ジョウン・ウォン直前地域会長、デビッド・ルア地域開発委員会委員長および田上正地域会長に対し、このプログラムの成功のために示した先見の明と献身的な努力に、心から感謝申し上げます。

パコ・ダイヤモンド・マニラクラブ チャーター式典



パコ・ダイヤモンド・マニラワイズメンズクラブのチャーター式典が田上正地域会長の司式で開催されました。マーク・タン理事は2025年7月6日に演説を行い、その夜、5名の新しい会員が加入しました。

インド地域ニュース

ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者

第43回インド地域大会 コーチン

2025年6月29日、第43回インド地域大会が、コーチン市ネドゥンパッセリーにあるサジ・アース・コンベンション・センターで開催され、同組織の地域貢献とリーダーシップ育成への継続的な取り組みにおける重要な節目となりました。この大会では、新たなリーダーシップチームの就任が祝われ、総額10億ルピー（約CHF 1,052,631）に相当する全国的なサービスプロジェクトの開始が発表されました。



ワイズ・リハビリ・プロジェクト



インド中西区・第1部は、2025年7月2日にカンナマリーで「ワイズ・リハビリ」と題した心温まる影響力のある地域貢献プロジェクトを実施しました。このプロジェクトの主な目的は、必要としている個人や家族に対して慈愛に満ちたケアと支援を提供することであり、特にリハビリテーション支援、メンタルヘルス、地域コミュニティーの結束に焦点を当てたものでした。



医療キャンプ

南インド区・コヴァイ・グリーン・シティ・ワイズメンズクラブは、2025/26年度のスタートに医療キャンプを実施しました。



寄付

クーヌール・ワイズメンズクラブは、サン・アントニオ教会で、236週連続で困窮者への食料支援を実施しました。

韓国地域ニュース

チュン・キュンジュ 韓国地域ニュース編集者

韓国地域第1回議会 (2025年7月5日)



By Mrs Birgit Jakobsen - Area Europe News Editor



韓国地域は、2025/26年度の第1回定例理事会を2025年7月5日に開催しました。17名の理事のうち15名が参加し、財務および憲法に関する重要な議題が議論されました。各理事および地域常任委員と事業主任は、2025/26年度における業務計画を報告しました。出席者全員が、韓国地域の継続的な成長と発展に向け、最善の努力を尽くすことを誓約しました。また、2025年9月20日に慶南の昌原コンベンションセンターで開催予定の「第8回韓国地域大会」の計画についても議論されました。

韓国 トレーニングと教育 (2025年7月11 - 12日)

中堅リーダーの役割を果たすための能力向上を目的として、昌原で2日間のリーダー研修プログラムが開催され、11の区から約60名のリーダーが参加しました。参加者には理事、区役員、部長および次期部長が含まれていました。研修の焦点は韓国地域の未来に置かれ、ブランドアイデンティティ、広報、および拡大に関するテーマが取り上げられました。



ニュー・チョンヤン・クラブ 洪水復旧支援事業 韓国西区

7月19日、ニュー・チョンヤン・クラブのメンバーは、ハン・イルウク元地域会長夫妻と共に、チョンヤン郡ウンゴク面においてワイズメンの精神を体現し、献身的な奉仕活動を行いました。

2023年の洪水復旧活動に続き、チームは記録的な降雨により壊滅的な被害を受けた地域を支援するために再び現地を訪れました。豪雨により橋が崩れ、道路が流され、土砂崩れが発生し、2人の住民が閉じ込められましたが、幸いにもタイムリーに救助されました。

クラブのメンバーは、洪水で被害を受けた作物の片付け、崩れた温室の解体、強い流れで流された泥や瓦礫、ゴミの除去に休むことなく取り組みました。彼らの揺るぎない献身と無私の奉仕は、この災害の後に苦闘する住民たちに希望と必要な支援をもたらしました。

ヨーロッパ地域ニュース

ビルジット・ジェイコブセン ヨーロッパ地域ニュース編集者

デンマーク区 区大会



2025年6月21日、デンマーク区の区大会を開催し、500名の参加者が集まりました。このイベントでは、いくつかの重要な決定が行われました。

大会のハイライト

- 大会の前夜には、丸焼きの豚肉を振る舞う舞う社交的な金曜日の夜が企画されました。その後、生演奏とダンスが続き、本イベントへの準備として本当に楽しい時間となりました。
- アールスで開催された大会自体は、1日間のイベントで、祝祭的な開会式と「コミュニティの価値観」をテーマにした礼拝で始まりました。

中央ヨーロッパ(CEE)セクションの紹介

議論の主要なテーマの一つは、デンマーク区内にCEEセクションを設立する提案でした。このセクションは、既存の6つのCEE部を共通の組織構造の下に統合し、デンマークの部と同等の自治権と自己統治権を付与するものです。この提案は、総会で、全会一致で承認され、CEEの長期にわたるパートナーがワイズ運動内でのより大きな独立に向けた重要な一歩を踏み出すことを支援する強い団結と支持が示されました。



CEEセクションの長：
アンナ・ラショールビア

デンマーク区内の新しい国

国際書記長とヨーロッパYMCAの支援を受けて、アルメニアをデンマーク区に含むという提案が提出され、承認されました。この決定に伴い、ウクライナをロシア区からデンマーク区に移管することも承認されました。

デンマーク区のメンバーは、大会およびその前週にジョース国際書記長とシャナヴァスカン国際会長が訪問したことを、非常に喜びました。彼らは、ヴァイレとヘアニングのワイズメンズクラブの夜のイベントに参加する時間を取り、またミッドルファートとリンケビングのワイズの中古品店を視察しました。



ブルガリアでの部大会



ブルガリア部：アセン・フィチェフ部長

6月7日、ブルガリア部は、ソフィアで会議を開催しました。

部内の4つのクラブが参加しました。YMCAの代表者と次期地域会長のジェンス・バイスコフも参加しました。

アセン・フィチェフ部長の報告後、各クラブは、活動状況と支援プログラムについて報告する機会を得ました。

ソフィアの3つのクラブがYMCAソフィアYMCAと提携して建物や施設を共同で購入する提案が議論されました。主な課題として、ソフィアの不動産の高コストが指摘されました。クラブは、市当局にアプローチし、支援や援助の可能性を模索することになりました。

よく組織された会議は、盛況裡に終了し、参加者は、このイベントを大成功と評価しました。

今月の料理

デンマーク風ミートボール

ビルジット・ジェイコブセン デンマーク区

伝統的なデンマークのフリカデッレ（ミートボール）のプレート。茹でたジャガイモ、ブラウンソース、赤キャベツを添えて、素朴な木製のテーブルに盛り付けられています。温かい照明と、家庭的で居心地の良いスカンジナビアの雰囲気。

作り方

1. 肉を混ぜる: 大きなボウルに、ひき肉、刻んだ玉ネギ、卵、牛乳、小麦粉（またはパン粉）、塩、こしょうを混ぜ合わせます。よく混ぜて、粘り気があり均一な状態になるまで混ぜます。
2. フリカデッレの形を作る: スプーンと手で、混合物を楕円形または丸い肉団子の形に成形します。
3. フライ: 中火でバターまたは油を熱したフライパンで、フリカデッレを片面約4〜5分ずつ、または黄金色に色づき、中まで火が通るまで焼きます。
4. 盛り付け: 伝統的には、ジャガイモ、ブラウンソース、ピクルスの赤キャベツ、またはキュウリサラダと一緒に出されます。またはジャガイモサラダ。

材料

- 500g 豚ひき肉（または豚肉と牛肉を半々）
- 小玉の玉ネギ1個、細かくすりおろしたもの
- 卵1個
- 牛乳100ml
- 小麦粉またはパン粉 大さじ4
- 塩 小さじ1
- 黒こしょう 小さじ½
- 揚げ用バターまたは油



米国地域ニュース

米国地域会長 ジョセフ・カンジャマラ

北大西洋区 チャリティー・クラシック 2025

2025年5月24日、北大西洋地域(NAR)は、ニューヨーク州マサペクアで初のバスケットボール大会「チャリティー・クラシック2025」を主催し、地域コミュニティの結束を強化しつつ、YMIの慈善活動のための重要な資金調達を実現しました。このイベントは、多様な背景を持つ人々が集い、共同の成功を祝い、すべての参加者を勝者として称える場となりました。



12の州から12のユースチームが参加しました。チーム・スーパーソニックが、クスマム・ジョセフ氏後援のワイズメンズクラブ国際協会トロフィーを獲得しました。チーム・スタッテンアイランドが準優勝トロフィーを受賞しました。

このイベントは地域社会、特に若者グループに大きな興奮を呼び起こし、献身的なボランティア、スポンサー、熱心な参加者の協

力なしには実現できなかったものです。

アラン・アジット、ヴィマル・デイビッド、マシュー・ジョシュア、シビ・デイビッドが、コラスン・ヴァルギース理事のリーダーシップの下で主催者となりました。シャジュ・サム元地域会長、ジョセフ・カンジャマラ次期地域会長、アレックス・マシュー直前理事、マシュー・チャマツカラ元理事、各クラブの会長などが出席しました。

北大西洋区 区大会 2025

6月29日、ニューヨークで2025年地域大会が開催されました。コラスン・ヴァルギース理事が参加者を歓迎し、在任中の主な活動をまとめた短いビデオを上映しました。このイベントには、ウィリアム・ウィットン グレンコーブ市警察署長、ピーター・フォスターYMCA最高経営責任者、ダグ・ジョーンズ地域会長、シャジュ・サム直前会長、デビッド・ワークマンCFOなど、多くの来賓が参加しました。ジョセフ・カンジャマラ地域会長およびジョージ・K・ジョン理事の正式な就任により、革新的なリーダーシップの新しい時代が始まりました。過去 2 年間のこの地域の成果をまとめた記念誌も発表されました。このイベントは、文化プログラム、エンターテインメント、心からの祝辞により、さらに充実したものとなり、会員間の深い帰属意識を育むものとなりました。





UN DAYS

8月の主要な国連記念日を、国連プロジェクト委員会委員のロイス・マラセリー教授が特定し要約したものです。

9
AUGUST

世界の先住民族の国際デー

世界の先住民族の権利を促進し、保護し、彼らの貢献を称えます。

12
AUGUST

国際ユースデー

若者に影響を与える文化的・法的な問題に関する意識を高めます。

19
AUGUST

世界人道の日

世界中で危機に直面する人々を支援する人道支援従事者および支援者を称えます。

23
AUGUST

奴隷貿易とその廃止を記念する国際デー

大西洋奴隷貿易の悲劇とその廃止を記念します。

29
AUGUST

核実験反対国際デー

核兵器実験の影響について認識を高め、核実験のない世界を目指します。